

いよいよスタート！【第2回 YA 本研究会 6/28】

YA 本研究会の第2回目は、中学生メンバーが1人欠席だったものの、高校生メンバーは全員が揃っての開催となりました。前半は10月のイベントに向けた話し合い、後半は「YA 本研究会のメンバー増やすにはどうすればいいか」という真剣な議論へと発展。メンバーたちの意識の高さには本当に驚かされました。今年度初開催のビブリオバトルも白熱！

8月の夏まつりイベントでも、YA メンバーの出番がありそうです。どうぞご期待ください！



初回、ビブリオバトルのチャンプ本はなんと2冊！



『まぐだら屋のマリア』 原田 マハ/著（幻冬舎文庫）

東京・神楽坂の老舗料亭で修行していた主人公は、料亭で起こった偽装事件を機に、料理人としての夢、大切な後輩や仲間など、すべてを失い、東京から逃げ出す。自殺するつもりで彷徨い、降り立った尽果という地で「まぐだら屋」という料理屋に出会う。

〈おすすめポイント〉

料理に関わっている主人公達だからこそ、料理に関する描写の美しさが読んでいて楽しいポイントです。料理の手順が一つ一つ丁寧で、創造する楽しさが盛り沢山！



『六人の嘘つきな大学生』 浅倉 秋成/著（角川文庫）

ハードカバーあり

IT 企業「スピラリンクス」の最終選考に残った波多野祥吾は他の5人とともに、全員で内定を勝ち取るために、最高のチーム作りに努めていた。しかし、最終選考直前、企業からの恐ろしいルール変更が通達される。

それは、内定者は1人というものだった。昨日まで全員合格を目指していた仲間たちが、一瞬にしてたった1つの席を奪いあうライバルになってしまう。

〈おすすめポイント〉

人生勝ち確(かちかく)の超優良企業を狙う6人のエリート大学生。内定枠「1人」を奪い合うデスゲームのような、心理戦が幕を開ける！暴かれる悪評、だがその嘘は誰かを守るためのものだった。

その他の紹介された本は・・・

『グッバイ宣言』 三月 みどり/著（角川 MF 文庫）

『リアル鬼ごっこ』 山田 佑介/著（幻冬舎文庫）

『なるほどフォカッチャ ハリネズミと謎解きたがりなパン屋さん』 鳩見 すた/著（メディアワークス文庫）

所蔵なし



本の紹介後、メンバーが思い思いに感想を語り合う楽しいビブリオバトルでした。

それぞれの本への情熱がひしひしと伝わる時間となりました。